

No.26

令和2年9月

防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館3F)
TEL/FAX 26-6841



池田市長祝辞



岡本会長挨拶

令和2年度 総会

令和2年6月27日(土) 13:00～

防府市文化福祉会館



佳作表彰式



佳作表彰式



佳作授与式



佳作表彰 市長祝辞



市民文芸特別賞



表彰式受付

令和2年度表彰式

令和二年六月二十七日(土) 十三時から三密を避け、消毒・マスク着用を徹底周知し防府市文化福祉会館三階三号室及び大会議室において、表彰式が盛大におこなわれました。

まず、当協会会長岡本早智子より挨拶があり、ご来賓として、市長池田豊様にお越し頂き、市長様より、受賞者にご祝辞を賜りました。

総会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面決議とし、平成元年度事業・決算及び令和二年度事業計画・予算について承認を頂きましたことを報告します。

いあいり



防府市文化協会

会長 岡本早智子

酷暑の日々が続く中で九月を迎えましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

文化協会では、六月の総会と表彰式については、会員の皆様のご協力により、無事終了致しました。総会は、書面決議により、各議題についてご承認頂き、有難うございました。表彰式は、三密を避けながら殆ど全ての受賞者をお迎えし、表彰者である池田市長様のご臨席のもと、厳粛で心温まる表彰式を挙行出来て、大変嬉しく思っております。改めて、受賞者の皆様おめでとうございます。

さて、九月から十二月は毎年、市民文化祭の時期です。今年も勿論行いますが、例年の出場団体に、コロナ問題で準備不可能な部門があり、そこは準備が可能で出場・出演を希望される加入団体をお願いいたします。

チラシやプログラムも間もなく出来ませんが、きっとフレッシュな防府市民文化祭になると考えますので、会員の皆さまの温かい応援をよろしくお願い致します。

令和元年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

○市民文芸賞 田島 藤井 絹枝

○市民文芸賞 新田 坪郷英美子

○年度賞 富海 重宗 隆治

迫戸町 佐藤 哲夫

仁井令 弘中 幸友

◎ 俳句の部

○年度賞 鈴屋 江山 豊

大道 川本 禮子

酢貝 阿部あけ美

西浦 藤岡久美子

田島 金内 憲一

◎ 短歌の部

○市民文芸特別賞 大道 末永 敦子

○年度賞 大道 重田 二枝

富海 江川 祥子

大道 蓑島美佐子

新田 弘重 和恵

◎ 自由律俳句

○市民文芸賞 奈美 松下 満江

○年度賞 桑南 西岡 悦子

桑南 池田美千代

仁井令 山本美紀子

東三田尻 財間 香苗

令和元年度 市民文芸特別賞 講評

◎ 短歌

陽の匂ひ土の匂ひの立つ畑はち切れさうな白菜育つ

末永 敦子

読んだ瞬間景色が広がり作者の思いが見えてくる歌である。冬の晴れた日、白菜畑いっばいに広がる陽の匂いや土の匂い、作者はまず嗅覚で全身に感じる心地よさを表現する。次にその畑にはち切れそうな白菜が育つと視覚で迫りながら、毎日見回り世話をした白菜が大きく育つた喜びを表現する。

平易な言葉でありながら、表現したい事柄をしっかりと選び、そこに焦点を当てて詠んでいるから心にどんと響く。作者にとつて、自然の心地よさを感じながら作物を植えて育てることは、この上ない幸せなのであろう。

このように、歌は身近な生活の中から生まれる。市民文芸にはそんな歌が沢山載っている。ぜひ多くの人に読んでもらい、共感していただきたい。

短歌選者 羽仁 和子

令和元年度 市民文芸賞 講評

長寿でも出来る笑顔のボランティア

藤井 絹枝

足腰が弱つても、誰でも出来る笑顔、素敵ですネ。
コロナ蔓延の世の中、一人の笑顔が回りの人を明るくすることと思います。
藤井さんの句に感激です。

ボケたかな一度で済まぬ二度三度

坪郷英美子

「ある。ある。」と皆うなずいたと思います。悲しいかな年を重ねるごとに、脳の衰えは仕方ありません。
忘れもの探しも、二度三度で見つかる様に努力しましょう。

川柳選者 河村 康子

「お仲間と一緒に学んできて」

松下 満江

十年前、友人から声をかけられ、足を踏み入れた自由律俳句の世界は、防府市出身の放浪の俳人「種田山頭火」さんとの出会いでもありました。不思議なところでした。

幼い頃、お母さんを亡くされた山頭火さんのこと、自由律俳句が防府の文化として多くの人に愛される様にと「みもぎの会」を立ち上げられたこと、お話は、ただ句を作るだけではなく、いろいろな生活の中で使うやさしい言葉で、読む人の心を動かすものであること、心の琴線にふれるような句になることだということでした。特に、山頭火さんが句を作るときに気を付けておられたことは、

- 一、情におぼれない
- 一、言いすぎない
- 一、道を行として句を作ること
- 一、添えるより捨てるべし
- 一、グツと掴んでパツと捨てる

と云うことだそうです。

これらをモットーとした句作りは十年経った今も、悩み、迷いながら一句一句挑戦しています。まだまだ未熟な私でしたが、文化協会の総会に於いて「市民文芸賞」を頂けたことは「みもぎの会」のお仲間と一緒に学んできたことの成果なのだろうと感謝しています。

これからも、この賞を励みにあらゆる言葉と向き合い、句作りの楽しさを一緒に学びながら自由律俳句が少しずつ広がっていくように頑張つて行こうと思います。

令和元年度防府市文化協会

第二十一回総会において

感謝状の贈呈

坪郷 久榮様

平成10年防府市文化協会創立以来、令和元年度までの21年間監事として多大なるご貢献をされました。



代理：坪郷好夫様

竹尾耶衣子様

平成24年度～平成27年度の4年間常任理事就任。

平成28年度～令和元年度の4年間防府市文化協会副会長として、文化振興に多大なるご貢献をされました。



文化振興奨励賞(個人の部)

美術(洋画)



山田 史生

1968年、1969年、2014年、2016年、2019年山口県美術展入選。2010年、2015年山口県美術展佳作入選。2013年、2019年東京・自由美術協会展7年連続入選。2014年東京・上野の森美術展冠賞受賞。防府市美術展、防府市日韓交流展、周南シニアアート展入賞、入選。京都・神戸・倉敷・福岡・山口・防府にて個展を多数開催。近年の主なテーマは「海」で、船や波、山場の造形は緻しさを与え、2015年の県美術展覧会の一般投票では、1、2位を争う多数の票を得た。令和元日より、防府市美術連盟洋画部門の常任理事として、会員の信頼を得て全体の指導に当たり、会の運営にご尽力頂いている。2016年、防府市日韓親善協会副会長に就任。防府市日韓親善交流展の活動においても副会長の重責の中、使命感を持って運営に携わり、近年、交流展の参加者も増加している。推薦団体：防府市美術連盟



生活文化(茶道)

羽嶋 秋貞

昭和32年日本礼道小笠原流にて稽古。昭和48年宗師師範を習得。平成18年日本礼道小笠原流から専心小笠原流に流名変更。山口県中部支部副部長就任。防府市民文化祭に参加。防府天満宮月次茶会に奉仕。平成30年明治維新150周年記念年事業へ参加協力。自宅にて茶道教室実施。日本伝統文化発展のため、日夜努力している。入門より約60年、師範となり約50年。その間、煎茶道の探求に精進され、多くの人材を指導・育成。また、もてる才能と人材を大いに活用され、数多くの地域の交流事業にも積極的に参加している。真面目で積極性に富みリリーターとしての資質を有し、各種行事の責任者を任せても立派に具現し、皆に信頼されている優秀な人材である。推薦団体：防府市華道連盟



生活文化(華道)

田中 繁満

昭和35年専正池坊入門。昭和52年日本総華修習得。その後10数年間、華道・茶道・習字(子供)を会館・センター等で指導。自宅でも教室を持つ。防府の文化を高める会の華道展第一回より出版し現代も続く。平成19年、20年文化協会常任理事就任。平成30年、令和2年度理事代行。平成10年専心池坊防府会代表となり、英雲荘に花活けを継承。専心池坊に移籍し、明治維新150年祭において毛利邸ギョウリ舞にていけ花体験学習指導を実施。令和元年1月に防府市主催の第17回雪舟サミットにおいて、雪舟に因んだ花を活けこみ来場者に感動を与えた。60年間日本伝統である華道専心池坊の発展のため多くの人材を育て上げ、防府の文化を高める会の時から、防府市文化協会の発展に参加するとともに、防府市文化協会や防府市華道連盟役員として活動している。山口県、防府市のために貢献され、ボランティア活動を現役として活躍されている。推薦団体：防府市華道連盟



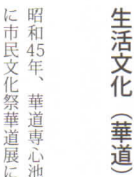
文芸(短歌)

藤本 征子

平成8年防府図書館短歌会入会。平成15年短歌結社「青潮」入会。平成22年、現在防府市民短歌大会役員選出者。平成27年、現在防府市広報市民文化芸短歌の部選出者。平成15年及び22年山口県歌人協会賞受賞。平成18年及び23年防府市民短歌大会市長賞受賞。平成21年日本歌人クラブ賞受賞。平成22年「青潮」新人賞受賞。平成27年NHK学園短歌フェスティバル公開賞受賞。平成22年、平成27年NHK学園短歌大会にて中国新聞社賞受賞。平成30年「青潮」賞受賞。平成15年短歌結社「青潮」入会以来、多数受賞。その実力や人柄を認められ、平成22年より防府市民短歌大会の役員・選出者を受けられる。平成27年より、防府市文化協会主催事業の一環である市広報ほうふ掲載の市民文化芸の選出者も務められ、市民文化の向上に積極的にあり、献身的に尽力している。推薦団体：防府市民短歌会

文化振興奨励賞(団体の部)

生活文化(華道)



華道専心池坊防府会

昭和45年、華道専心池坊防府会は、防府の文化を高める会、発会と同時に市民文化祭華道展に毎年多数の会員が協力、参加。平成30年から防府市華道連盟会長として、英雲荘や毛利邸の玄関・床の間への献花や体験学習指導等連盟6流派のまとめ役となる。また、公民館サークル活動も積極的に展開するなど防府の文化発展に寄与しており、今後の活躍が期待される。推薦団体：防府市華道連盟

生活文化(盆栽)

大道盆栽会

代表者 小林 保

昭和45年に誕生。今年で記念すべき50年目となる。①大道公民館活動の一環として、毎年1月と5月に大道公民館で盆栽展の展示を実施。②平成20年からは、小野盆栽講座とタイアップして、盆栽を展示することに貢献。③明治維新150周年記念山口ゆめ花博に盆栽の作品を展示し、事業に協力した。④平成29年と平成30年には、おもてなし観光課との協働により、毛利邸へ盆栽を展示。多くの来場者にPRを務めた。⑤文化協会主催事業の防府市民文化祭の一環である盆栽展には、設立以来毎年盆栽展に協力し、展示に趣向を凝らして、盆栽を広めている。現在、4代目となる小林保会長により、小野地区や月2回の勉強会を大道や牟礼で開始。特に若手の参加に力を入れ、近年では、30代、40代の男女が入会。今後も盆栽の発展継続に尽力され、さらなる盆栽愛好者の人口増加を期待して推薦団体：防府盆栽連合会

美術(書道)

防府市書道連盟

代表者 富永 鳩山

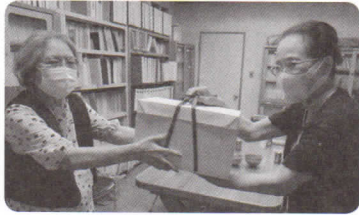
平成12年度防府市書道連盟は発足以来、防府市美術連盟に積極的に協力参加。役員・会員としても貢献され、書道として、他の芸術部門と同様に防府市美術展の一翼を担っている。平成14年防府天満宮神忌千百年式年大祭の協賛事業として第1回「茶掛展」を防府天満宮にて開催。平成19年第21回国民文化祭記念展開催。平成23年第10回記念展「書はドラマチックだ」展を開催。平成24年防書連展にて「山頭火を書く」を併設。平成25年「呈茶会(茶道)」と共催書道展開催。平成26年「萌えき芸(筆曲)」と共催書道展開催。平成27年「野村望東尼を書く」に作品を発表・寄贈。平成28年「フォトフレンズ写真(写真)」と共催書道展開催。ハズレ続行し防府市書道連盟書道展、防府天満宮「筆祭り」協賛参加、ルルササ夏休み冬休み子ども習字教室、防府天満宮「書道ハロウィン」を実施。連盟書道展などその活動は身近な芸術として市民に親しまれ、その活動がさらに防府の文化芸術の発展に寄与されることを期待する。推薦団体：防府市美術連盟

数茶碗を寄贈いただいた

防府茶道連盟 高橋 宗周

本来ならば、毎年秋に開催される市民文化祭に於いて、茶道連盟は、皆さまに気軽に参加して頂ける市民茶会を催す準備をすすめている頃となりましたが、本年は、感染症流行の為、やむなく中止の次第となりました。本当に残念で、楽しみにして下さっていた方々には、申し訳ない気持ちでいっぱいです。茶道連盟に所属する、専心小笠原流煎茶、表流防和会、茶道裏千家淡交会山口支部の三団体各々が、精一杯のおもてなしを心がけ、初めての方々にも喜んで頂けますように、毎年十一月の市民茶会に取り組んで参りました。

昨年度、文化協会様から、茶道連盟に数茶碗を、との嬉しいお話を頂き、今春三月、三十個の茶碗が完成しました。コロナ流行の為にようやく七月初旬、贈呈頂く運びとなりまして、文化協会岡本会長様より、手渡して頂きました。市内在住の若手作家の中より、茶道を理解され、精進しておられる間鍋窯の間鍋竹土さん、玉祖窯の松下宏明さん、お二人の力作です。茶会の中で唯一、手にふれ、そして唇で感触を楽しんでいただけの茶道具です。今秋のご披露は叶いませんでしたが、どうぞ皆様、楽しみにお待ち下さいませ。
*数茶碗・多人数の茶会の場合、水屋から茶を点でて運び出しますが、それに使用する揃いの茶碗



文化振興奨励賞を受賞して

華道専心池坊防府支部 田中 繁満

この度は、防府市文化振興奨励賞を頂き誠に有難うございます。これも、皆様のご協力の賜物だと心より感謝致しております。思い起こせば今から六十年前の昭和三十五年、二十三歳の頃、短気・神経質・イライラの三拍子揃っておりました。ちょうどその頃ある女性から、生け花を習ったら落ち着くのではと云われ、「え・・・花ちよつと考えさせて」いろいろ考えた末、精神修行の為と思い入門。当時生け花は最盛期。若い人から壮年の人多数でしたが、男性って一人もいない。左右どちらを向いても女性ばかり。最初は、先生が活けられたのをもう一度その通りに活けなおす。花のはの字もわからない、今ごろの指導とは違います。だんだんと自分で活けられるようになると、そのうちのめり込む。稽古するからにはまず続ける事。「稽古とは一より習い十を知りまたもとの一に戻る」男のくせに花を習う。今でいう「セクハラ」。何回も受けた事を今でも覚えています。我を生かす道この道を歩く。最後は何処にたどりつくのかと思いつけた。一番不幸だと思つた日こそ、後から振り返ると一番かけがえない日々だったとわかるものだ。その後、最上級の免状をもらうまで十七年かかった。その間支部に入会し、研究・支部展に携わり、公民館や市の行事に参加。『自分の為でなく人のために動く。』生け花は、一言でいうと、宇宙をいける。花に命を与える。心を込めて活ける。「花の命は短くて、苦しきことのみ多かりき」林 芙美子 詩「冬は必ず春となる」体が動く限り文化協会の為、又、人の為に尽くしたいと思えます。

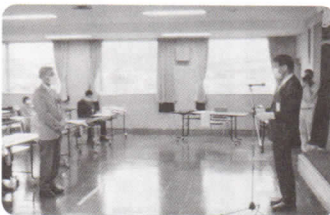


謝辞

防府市書道連盟 会長 富永 鳩山

この度、防府市書道連盟は防府市美術連盟の推薦により、防府市文化振興奨励賞を頂戴いたしました。書道は長い歴史を有し、小学校での体験をはじめ、心を豊かにしてくれる趣味としても親しまれてきた身近な芸術です。当連盟は、平成十二年に、市内の書道団体が共に書道の普及と個人の技術の向上を目指し、切磋琢磨することを目的として発足しました。各団体・個人は市美術展や中央展など広く活動しています。防府市書道連盟は地元防府市での作品発表を大切にしてきました。

平成十四年には防府天満宮神忌千百年大祭の協賛として第一回「茶掛展」を防府天満宮歴史館にて開催いたしました。その後、書作展を定期的に開催していますが、さらに学生展の併設や、他分野の芸術・文化団体との合同展など、試行錯誤しながら活動して参りました。今回、連盟という団体が受賞したことに大きな意義を感じております。地道な活動に光を当てて頂き、これ以上の喜びはありません。ここに心より御礼申し上げます。今後とも書道を愛する皆さんと共に学び励まし合い、共に助け合いながら書道の普及と発展に尽力してまいります。



冬花の会

睦 冬花

「冬花の会」は、日本舞踊若柳流の若柳吉冬貴師匠から指導を受けている女性ばかり五人のグループです。着物を自分で着ることもできないところからのスタートでしたが、最近では古典舞踊も教わるようになり、少人数ながら「冬花の会」を立ち上げることができました。

「睦会」とは、若柳流の「なかで新舞踊や民謡舞踊を学ぶ会」です。幅広い作品を踊ることができるように、これからも精進したいと思います。私たちは、いずれも日本舞踊に親しむようになって四年足らずです。日頃接する機会の少ない和の文化を学び、それぞれの成長につながっていると実感しています。

また、防府市文化協会やボランティア活動に参加することを通じて、分野の異なる方々と交流し、とても貴重な経験をさせていただいています。

私たちの目標は、観てくださる人に感動していただける踊りを舞台で披露することです。それに向かつて、日々研鑽を積んでまいります。新しい仲間も大歓迎です。



洋舞フェスティバルの中止

防府市洋舞の会 会長 西山 晋

今年の洋舞フェスティバルはコロナ禍の影響で中止になった。

感染拡大対策などを考えればやむを得ない決定であるが、洋舞連盟最大のイベントが開催できないのは非常に残念である。

毎年秋には「洋舞」と決めて様々な活動が進んでいたのが大きな柱がなくなり、全ての事に張り合いがなくなっている。活動が全くできなくなった今、改めて洋舞が果たしていた役割について考えてみた。

洋舞フェスティバルは自分たちの活動発表だけでなく、防府市民に向けての文化活動の発信イベント。私たちの元気がなくなれば市民全体にも影響してくる。

コロナ感染症がまだまだ終息の方向が見えない中、以前と同じ活動はできない。

3密を避け、マスクをして・・・

洋舞連盟に加盟している団体では、様々な制約があるなかで、それぞれに工夫をしながら活動を再開し始めている。

大規模なイベントは無理であるが、小さな企画などを通じて、少しでもみんなの元気が出るように頑張っていきたい。



「窪田耕一さんを偲んで」

防府詩の会 会長 佐藤 文彌

平成二十七年（二〇一五）十一月、山口県総合芸術文化祭の中で詩の大会を防府で開催することになり、窪田さんが、「山頭火も詩を書いていた」との言葉で、記念講演は窪田さんをお願いした。演題は「金子みすゞと山頭火」と言うことで、よく考察された内容にも驚いたが、映像を駆使しての講演にはずいぶん盛り上がり、喜んできてくれている様子が見れたのは主催者としては大変ありがたかった。

「文化協会だより」の編集の時には、いつもどおりの温厚な語り口の中にも鋭い指摘に助けられた。私が個人で進めている歴史史料の収集については以前、防府日報で長く特集を組んでいたこともあって、ずいぶん参考になった。又、個人的にも、何度かお宅を訪問し、山頭火や幕末等の歴史感に熱く語る場面もあって、でも一番時間をかけたのは、奥様の詩集についてだったような気がする。今となっては楽しい時間だった。そう思うし、いい思い出になった。訃報を知ったのは九月もなかば過ぎてからだだった。これまで「山頭火顕彰会」、代表として、広報・講演・指導・史料の発掘と、活動の場は多岐にわたっており、まだまだ感を残したまま、逝ってしまった。「残念」と言う言葉しか見つかりません。葬儀もコロナ禍では、何かとむずかしく、最後の別れに立ち会えなかったことは当然、心から離れないでしょう。長きにわたっての御指導ありがとうございました。

百五十五回忌記念の年を来年に控えて

防府野村望東尼会 会長 岡本早智子

福岡藩士の三女として生まれ育った望東尼は、幕末の志女とも呼ばれ、優れた歌人で、高杉晋作他多くの志士たちを支援し、晩年には長州に来て、六十二歳にして三田尻で客死しました。私達は、彼女の人柄と生き様と・・・すべてに共感を覚え、尊敬の念を抱いて、顕彰を進めてまいりました。

令和三年は、百五十五回忌記念の年です。

ついでには、これらの記念事業として、望東尼が長州で過ごした一年余り（下関から山口、そして防府での日々）について、もう少し調査を広げ深めて、『野村望東尼（長州関係）資料集』（仮称）を編纂して、関心をもたれる市民の方々にお届けしたいと計画し、粛々と準備を進めているところです。

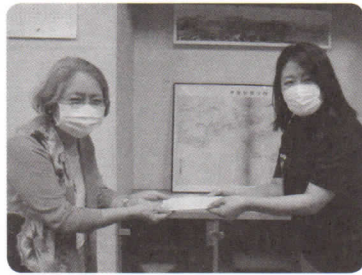
また、望東尼のご命日（令和三年十一月六日）には、記念法要を大楽寺で行い、その日の午後細やかながら記念祭を行うことが出来たらと、役員会では話し合っています。こちらは、残念ながら、新型コロナウイルス感染問題が大きく影響しますので・・・しかし、今から約一年二か月先のことですので、可能な限り実施します。

防府市文化協会、ご関係の皆さま、野村望東尼に関心をもたれる防府市民の皆さまには、是非、当会のこの様な百五十五回忌記念事業に、ご理解いただき、ご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

故 中山歌翠先生よりご寄付

令和二年八月四日（火）防府市文化財郷土資料館参考室において、故 中山歌翠先生の御主人である中山巖様より「生前妻がお世話になった防府市文化協会に寄付をされたい」と申し出があり、御親戚でもある市議会議員の藤村ごずえ様が代理で十万円のご寄付を頂きました。

当協会からは、岡本会長より感謝状を贈呈し、故 中山歌翠先生の文化に対する熱いご遺志を受け継ぎ有効に活用させて頂く事をお伝えしました。



第五十一回防府市民文化祭 防府市文化協会「会員ふれあい文化事業」について

防府市文化協会 事務局長 岡崎久美子

今年、地球規模で新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く、文化活動のみならず、様々な事業が延期や中止に追い込まれております。

当協会の文化事業も様々な影響を受け、今年の市民文化祭は、例年の形を守りつつ、通年と違い文化協会に所属している会員の皆さまにお声掛けをし、「防府市文化協会会員ふれあい文化事業」と銘打って、日頃の活動のPRや発表事業を実施することを提案いたしましたところ、多くの会員の方々に賛同して頂き実施することになりました。会場はアスピラートです。参加対象は防府市内在住の方です。入場無料で第一弾から第三弾まで左記の日程のとおり、多くの文化団体による事業が企画されることとなりました。九月と十一月については、先着各三十名とし、電話等で事前予約が必要です。

なお、事業の詳細については、防府市役所地域交流部文化・スポーツ課内にあります防府市文化協会ホームページをご覧頂くか、市広報の九月一日号・十月一日号、十一月一日号をご覧ください。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、各事業には、検温・人数制限・消毒実施・マスク着用・名前や連絡先の記入等の義務づけがあります。どうぞご興味のある方は、電話・FAX等でお申し込みください。

26-6841 (FAX兼用)

「防府市文化協会会員ふれあい文化事業日程」

△第一弾▽入場無料

『防府』歴史・ひと・学びの会

対象者：防府市内在住 各先着30名

日時：9月25日（金）～9月27日（日）

13時30分～15時

場所：アスピラート2階展示ホール

日時	内容	団体名	講師
25日（金）	「日本神話の新しい解釈」	防府歴史と考古学の会	会長 長野 嘉久
26日（土）	「山頭火の仏心」	種田山頭火頭彰会	護国寺住職 橋本 隆道
27日（日）	「望東尼をご存知ですか」	防府野村望東尼会	会長 岡本早智子

△第二弾▽入場無料

対象者：防府市内在住 各先着30名

日時：11月13日（金）～11月15日（日）

13時30分～15時

場所：アスピラート2階

展示ホール・リハーサル室

日時	内容	団体名	場所
13日（金）	「自由律俳句で遊ぼう」	初めての自由律俳句みもぞ	展示ホール
14日（土）	「セルビアの踊り」 ～簡単なステップを学ぼう～	牟礼フォークダンス同好会	展示ホール

日時	内容	団体名	場所
15日（日）	「フラダンスを踊ろう」 ハワイ大好き「踊ろう！ハワイアンフラ」	イクエフラ PDC	展示ホール
13日（金）	「切手に興味ありませんか」	日本郵趣協会 防府支部	リハーサル室
14日（土）	「民謡を楽しむ」 三味線合奏・長州音頭を一緒に踊りましょう	防長民謡会	リハーサル室
15日（日）	「箏に触れる」 △演奏時間△ 13時40分～14時20分 (先着各15名ずつ)	雅会	リハーサル室

△第三弾▽入場無料

来場の際、名前・連絡先記入

対象者：防府市内在住

日時：12月2日（水）～12月6日（日）

（但し、6日は15時まで）

場所：アスピラート2階

展示ホール・リハーサル室

アスピラート1階 市民スペース
旧山頭火の部屋

日時・場所	内容	団体名
2日（水）～4日（金） 10時～16時 ホールA	押花作品の展示	すずらん会

△展示ホール▽（2階）

日時・場所	内容	団体名
2日（水） 10時～16時 ホールB	マネキン人形に着せた着物の鑑賞	着付サークル
3日（木） 10時～16時 ホールB	・「詩への扉」 案内 ・詩集の展示	防府詩の会
4日（金）～6日（日） 10時～16時 ホールB 但し6日は15時まで	水彩画作品の展示	ほうふ水彩画倶楽部
2日（水）～6日（日） 10時～16時 ホールC 但し6日は15時まで ※②の5・6日は 展示ホールA	①水彩画作品の展示 ②カントリー ドールの展示	①スケッチサークル 十色会 ②カントリードールを作る会

△リハーサル室▽（2階）

2日（水）～3日（木） 10時～16時	リフォームした着物・洋服や帽子等の展示	①着物リメイク教室 Group de Rosas
4日（金） 10時～12時	10時～11時 踊りの発表	②衣服のリフォーム 日本舞踊 花扇の会
4日（金） 13時30分～ 16時	13時30分～ 14時30分 南京玉すだれ演技	古典南京玉すだれ 山口保存会
5日（土）～6日（日） 10時～16時	レモンガラスの輪飾り作り	ラベンダーの会

△市民スペース▽（1階 旧山頭火の部屋）

2日（水）～6日（日） 10時～16時	藍染め作品の展示等	藍と愛の会
------------------------	-----------	-------

※各会場内30人制限。三密にならないよう、ご鑑賞下さい。

第五十一回防府市民文化祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、内容変更及び中止となる場合があります。

行事名	とき	ところ	入場料
ふれあい文化事業 第1弾 「防府」歴史・心と 学び合い」	9月25日(金) 日本神話の新しい解釈 9月26日(土) 山頭火の仏心 9月27日(日) 望東尼をご存知ですか 13時30分～15時	アスピラート 2階展示ホール	各 先着30名 無料
市民音楽祭	10月25日(日) 13時～ 「10月1日～10月20日(土・日) 除く」事前指定券配布	アスピラート 音楽ホール	無料
ふれあい文化事業 第2弾 応募締切 10月1日～11月6日 (土・日・祝日除く)	11月13日(金) 自由律俳句で遊ぼう 11月14日(土) セルビアの踊り 11月15日(日) フラダンスを踊ろう 13時30分～15時	アスピラート 2階展示ホール	各 先着30名 無料
ふれあい文化事業 第3弾	11月13日(金) 切手に興味ありませんか 11月14日(土) 民謡を楽しむ 11月15日(日) 争に触れる(13時30分・14時 20分) 12月2日(水)～6日(日) 10時～16時 (6日のみ15時まで) 絵画・押し花・リフォーム作品・ カントリドール・藍染め等 の作品展示 詩に触れる・着付や輪飾り作 製・日本舞踊・南京玉すだれ 等 予定	リハーサル室 アスピラート 2階展示ホール リハーサル室 市民スペース 旧山頭火の部屋	各 先着30名 無料 「争に触れる」につ いては、先着 各15名

来場の際は、検温をされ37.5度以上の熱や体調不良の場合はご遠慮願います。また、会場内では、3密を避けるため、人と人との間隔を1.5m空ける事。大きな声の発声は禁止。マスク着用は必須。マスクがない場合は入場できません。入場の際は、新型コロナウイルス対策により、会場入口で名前・連絡先を記入していただきます。入退場の際、必ず消毒をしてください。あなたの身近な大切な人をお守りするためにもご協力下さい。

問合せ先：防府市文化協会 26-6841

常時文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

- 《年会費》
団体会員 (第一号会員) 三千元
個人会員 (第二号会員) 千五百円
- 《会員の特典》
*個人会員
①文化情報のお知らせ
*団体会員
①加入団体の各種行事に
対する文化協会の共
催・後援

- ②文化福祉会館・公民館
の施設(文化福祉会館
大会議室を除く) 月一
回一区分無料利用

ただし、電気代等実費用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》
「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期 限》
年度の4/1～翌3/31
までの一年間(年度ごと更新)
《問合せ》
防府市文化協会事務局
(防府市文化財郷土資料館三階)
(TEL・FAX) 26-6841
〇八三五-二六一六八四一

※申込書は、市文化・スポーツ課のホームページからダウンロードできます。

令和二年度 支援事業部の活動について(変更のお知らせ)

「防府市文化協会だより」(令和二年六月号)に、通常の活動についてご案内しましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の問題も続く中で、急遽、次のように変更しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 一、支援事業部会員の募集は行いません。これまでお世話になっていた企業や個人の会員の皆様には、コロナ問題が終息し次第、またご協力の程、よろしくお願ひ致します。
- 二、今年度中に助成金を受けた文化団体においては、十一月に申請受付を行いますので、当協会までお尋ね下さい。

防府市公会堂 貸館業務開始

防府市公会堂が十月三日(土)に記念式典が行われ、十月六日(火)から使用可能となります。申し込みされる団体がありましたら、直接公会堂までお尋ねください。

編集 委員 佐藤 文彌
" " 西山 晋
" " 石川 雅子

発行 防府市桑山二丁目一
防府市文化財郷土資料館
三階 防府市文化協会
TEL/FAX 〇八三五
(二六) 六八四一
令和二年九月

編集後記
ここまでコロナ禍が長びくと、企業活動が疲弊し、文化活動に資金面で何らか影響がでてくるのは、さげられないかも知れない。でも、長い歴史の中で、数々試練を乗り越えてきたと言う、自負もある。「明けない夜はない」。何があっても、次へとつなぐ努力はいささかなりとも、怠つてはならない。ひたすら、「前へ」と進むしかないのだ。

我々がうろたえてるといふのに、庭の山茶花はいつもどおり、蕾をいっぱいつけている。すごいな！
コロナ禍でうろたえてる、我々はどう映るのだろうか。